

別紙様式 4

病院整備計画の概要書【地域医療構想調整会議用】

1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏

名称：飯能靖和病院

所在地：埼玉県飯能市下加治 1 3 7 番地 2

所在二次保健医療圏：西部医療圏

2 開設者の名称・所在地（個人開設の場合、所在地は市町村名を記載）

名称：医療法人靖和会 理事長 木川 浩志

所在地：埼玉県飯能市緑町 1 9 - 4

3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
急性期	一般病床（一般病棟）	3 4	3 4	0
回復期	療養病床（回復期リハビリテーション病棟）	4 6	4 6	0
慢性期	一般病床（特殊疾患病棟） 2 病棟	1 2 0	1 2 0	0
慢性期	療養病床（医療療養病棟）	5 4	5 4	0
小計		2 5 4	2 5 4	0
その他	精神病床（認知症治療病棟）	6 0	6 0	0
合計		3 1 4	3 1 4	0

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア病床	回復期リハビリテーション病床
6 4 . 6 %	8 7 . 9 %		7 8 . 5 %

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

4 開設等の目的、整備方針、必要性、地域医療構想調整会議の議論との整合性

当院では、一般病床として①「地域一般入院料 3」を算定する 1 病棟（34 床）と②「特殊疾患病棟入院料 1」を算定する 2 病棟（60 床×2）を有しております。また療養病床として③「回復期リハビリテーション病棟入院料 2」を算定する 1 病棟（46 床）と④「療養病棟入院基本料 1」を算定する 1 病棟（54 床）を有しております。

その他、精神病床として⑤「認知症治療病棟入院料 1」を算定する 1 病棟（60 床）を有しており、加えて旧・介護療養型医療施設（介護療養病床）から転換した⑥介護医療院（医療機関併設型）3 療養棟（46 床×1、60 床×2）を同一建物内に併設しております。

病棟（療養棟）配置図

【現状】

		本館		南館	南新館
		東	西		
4 階	病床区分 適用保険			⑥-2 介護医療院	
				60 介護	
3 階	病床区分 適用保険	① 一般病棟	④ 療養病棟	②-1 特殊疾患病棟	
		一般 34 医療	療養 54 医療	一般 60 医療	
2 階	病床区分 適用保険	⑥-1 介護医療院	③ 回復期リハ ビテーション病棟	⑥-3 介護医療院	
		46 介護	療養 46 医療	60 介護	
1 階	病床区分 適用保険	外来等		②-2 特殊疾患病棟	⑤ 認知症治療病棟
		連絡通路		一般 60 医療	精神 60 医療

【飯能靖和病院】

	区分	病棟	病床数	病棟数
①	一般	一般病棟	34	1
②	一般	特殊疾患病棟	120	2
③	療養	回復期リハビテーション病棟	46	1
④	療養	療養病棟	54	1
⑤	精神	認知症治療病棟	60	1
計			314	6

【飯能靖和介護医療院】

	区分	療養棟	療養床数	療養棟数
⑥	介護	介護医療院	166	3
計			166	3

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

現状、地域住民をはじめ周辺地域の医療機関・介護施設等から入院患者を受け入れていますが、急性期～亜急性期の患者を受け入れるための一般病棟が34床と少なく慢性的に不足しています。不足する理由としましては、

- ▶ 高齢者が多く、急性期治療からの離脱に時間を要していること
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の流行初期より「重点医療機関」として入院患者を受け入れているが、個室の設置がなく、多床室で感染症（疑い含む）や発熱等の症状がある患者の隔離を行っていたり男女の別を考慮したりすることで「空きベッド」ができてしまうこと
- ▶ 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、引き続き特に高齢の感染者を多数受け入れているが、回復後もコロナへの不安や認知症・合併疾患等を理由に施設等の受け入れ先が見つからないことが多く、自院で継続して入院対応を行っていること
- ▶ 他病棟や院内併設の介護医療院から慢性疾患の急性増悪による患者を受け入れたり、当院の外来を受診した患者の即日入院を受け入れたりしていること

などにより稼働状況は数字以上にひっ迫しており、実際に使えるベッドが足りず入院のご依頼をお断りせざるを得ないこともあるのが実状です。可及的速やかに他病棟へ転棟できるよう努めておりますが、この影響で③回復期リハビリテーション病棟や④療養病棟でも転出入が多く、またこれら転棟先の病棟でも介護への移行や在宅復帰には時間が必要で、結果として全体的にベッドコントロールに苦心しています。このため、令和6年2月～3月に開催された地域医療構想調整会議において西部圏域での回復期・慢性期病床の不足が推計されたことによる公募に際し「療養病床34床」の増床を希望いたします。

本来であれば①の病棟を増床したいところですが、一般病棟の増床が難しい現状にあっては④を増床し①からの受入可能な患者数を増やしたいと考えております。①から速やかに転棟することが可能になれば①の在院日数が短縮でき、より円滑なベッドコントロールが可能になります。これにより地域の、特に高齢者や脳血管疾患（脳梗塞、小児頭部外傷等）の患者、合併疾患を患った患者を中心に幅広く受け入れている当院の役割を高め、西部圏域における地域医療により貢献するためにしっかり整備したいと、今回計画いたしました。

当院では、隣接する「飯能老年病センター」様が認知症治療専門病院として機能しており競合する精神病床（⑤認知症治療病棟）の稼働状況が低調なことから地域のニーズが低いと判断しております。このためまず⑤の60床のうち40床を返還し20床としたいと考えます。（図 1）

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

1 認知症治療病棟60床のうち40床を返還し20床とする

		本館		南館	南新館
		東	西		
4階	病床区分 適用保険			⑥-2 介護医療院 60 介護	
3階	病床区分 適用保険	① 一般病棟 一般 34 医療	④ 療養病棟 療養 54 医療	②-1 特殊疾患病棟 一般 60 医療	
2階	病床区分 適用保険	⑥-1 介護医療院 46 介護	③ 回復期リハ リテーション病棟 療養 46 医療	⑥-3 介護医療院 60 介護	
1階	病床区分 適用保険	外来等		②-2 特殊疾患病棟 一般 60 医療	⑤ 認知症治療病棟 精神 60 → 20 医療
			連絡通路		

続いて、空いた 40 床のスペースを改修（40 床のうち 6 床を減床しスタッフステーションやリネン庫を設置）して 34 床としたところに、①の一般病棟を移転します。これは

- 個室、2 床室の確保（もともと⑤には個室や 2 床室が備わっている）
 - 患者や職員の動線を改善（3 階から 1 階になり、外部との出入りや隔離がしやすい）
- を目的としています。（図 2）

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

2 南新館1階を20床と34床の2病棟に分割（6床減）し、本館3階東病棟の一般病棟を南新館1階へ移転する

		本館		南館	南新館
		東	西		
4階	病床区分 適用保険			⑥-2 介護医療院 60 介護	
3階	病床区分 適用保険	① 一般病棟 一般 34 医療	④ 療養病棟 療養 54 医療	②-1 特殊疾患病棟 一般 60 医療	
2階	病床区分 適用保険	⑥-1 介護医療院 46 介護	③ 回復期リハ リテーション病棟 療養 46 医療	⑥-3 介護医療院 60 介護	
1階	病床区分 適用保険	外来等		②-2 特殊疾患病棟 一般 60 医療	⑤ 認知症 治療病棟 精神 20 医療
					① 一般病棟 一般 34 医療

20 + 34 = 54 (6床減)

これにより空いた①のスペースに、今回応募する療養病棟34床（④の増床）を設置することを企図しております。（図 **3**）

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

3 一般病棟を移転して空いた本館3階東病棟に、今回応募の療養病棟（34床）を設置する

		本館		南館	南新館
		東	西		
4階	病床区分 適用保険	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">今回応募分</div>		⑥-2 介護医療院 60 介護	
3階	病床区分 適用保険			(新) 療養病棟 療養 34 医療	④ 療養病棟 療養 54 医療
2階	病床区分 適用保険	⑥-1 介護医療院 46 介護	③ 回復期リハ リテーション病棟 療養 46 医療	⑥-3 介護医療院 60 介護	
1階	病床区分 適用保険	外来等		②-2 特殊疾患病棟 一般 60 医療	⑤認知症 治療病棟 精神 20 医療 ① 一般病棟 一般 34 医療
		連絡通路			

【飯能靖和病院】

	区分	病棟	病床数	病棟数
①	一般	一般病棟	34	1
②	一般	特殊疾患病棟	120	2
③	療養	回復期リハリテーション病棟	46	1
④	療養	療養病棟	88	2
⑤	精神	認知症治療病棟	20	1
計			308	6

【飯能靖和介護医療院】

	区分	療養棟	療養床数	療養棟数
⑥	介護	介護医療院	166	3
計			166	3

用地の新規取得や新築の必要がないため、比較的早期に着手、運用することが可能です。

既存の④療養病棟では人工呼吸器が必要な患者など比較的医療・看護の必要度が高い患者を受け入れており（「療養病棟入院基本料1」を算定）、増床分も同様に運用することで一般病棟からの転棟をより早く、より多く受け入れる体制とします。結果として一般病棟の稼働率が上がり、かつ個室や2床室の確保により効率的な運用が可能となることから、他医療機関（特に高度急性期病院）や施設等からの入院受入の円滑化が図れるものです。

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 34 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
慢性期	—	療養病床	療養病棟入院基本料 1	34
計	—	—	—	34

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療、感染症医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

(2) 整備する病床数の根拠

①病床数の考え方

●当院への入院ご相談・ご依頼件数 1,825件/年（令和5年度） うち病床不足等によりお受けできなかった件数 497件/年（27.2%）

・一般病棟の平均在院日数 19日 497件×19日=9,443日 9,443日÷365日≒26床（お断りした分をお受けするのに必要な病床数）…①

・個室隔離（感染症やその疑い、不穏等による見守り）対応病床の確保 男性2床、女性2床 =4床…②

・当日入退院（環境整備）や男女の別等を考慮 4床…③

①+②+③=34床（増床希望数）

◎入院の受入れに関して、病床不足を理由にお断りせざるを得ない状況を解消したい

◎当院が地域に果たす役割をより強化したい（ポストアキュート・サブアキュート機能、医療・介護のシームレスな提供体制の構築）

・地域住民（特に高齢者）、脳血管疾患等の患者（小児含む）、合併疾患を持つ患者、リハビリテーションが必要な患者等、幅広く受け入れる

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

仮に承認病床数が整備（希望）計画病床数を下回った場合の意向

計画（希望）では34床としておりますが、これを下回る場合について「20床」を下限として考えております。

34床の増床が可能な場合、④は既存の1病棟（54床）、新規の1病棟（34床）で計2病棟とする予定（ケース1）ですが、仮に20床となった場合、既存の一部（14床）を新規の病棟に移す（ケース2）などの対応を検討いたします。（図 **仮**）

- ケース1 34床増床 …既存病棟54床（±0）、新規病棟34床（+34）
- ケース2 20床増床 …既存病棟40床（54-14）、新規病棟34床（20+14）

仮 許可病床が下限の20床となった場合

		本館		南館	南新館
		東	西		
4階	病床区分 適用保険	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 既存棟から新棟へ14床を移床 新棟 (20床+14床) 既存棟 (54床-14床) </div>		⑥-2 介護医療院 60 介護	
3階	病床区分 適用保険	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> (新) 療養病棟 療養 34 医療 </div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> ④ 療養病棟 療養 40 医療 </div>	②-1 特殊疾患病棟 一般 60 医療	
2階	病床区分 適用保険	⑥-1 介護医療院 46 介護	③ 回復期リハ リテーション病棟 療養 46 医療	⑥-3 介護医療院 60 介護	
1階	病床区分 適用保険	外来等 連絡通路		②-2 特殊疾患病棟 一般 60 医療	⑤認知症 治療病棟 精神 20 医療 ① 一般病棟 一般 34 医療

【飯能靖和病院】

	区分	病棟	病床数	病棟数
①	一般	一般病棟	34	1
②	一般	特殊疾患病棟	120	2
③	療養	回復期リハ リテーション病棟	46	1
④	療養	療養病棟	74	2
⑤	精神	認知症治療病棟	20	1
計			294	6

【飯能靖和介護医療院】

	区分	療養棟	療養床数	療養棟数
⑥	介護	介護医療院	166	3
計			166	3

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

②-1 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
医療療養病棟	34床	慢性期		
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
診療科 内科、リハビリテーション科、脳神経内科				
患者の受入見込み (※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。)				
【増床前】 (医療療養病棟) 自院から年間 132 人 (100%) (一般病棟：参考) 自院から年間 32 人 (7.4%) 自院以外（他医療機関、他施設等）から年間 403 人 (92.6%)		【増床後】 (医療療養病棟) 自院から年間 220 人 (100%) (一般病棟：参考) 自院から年間 40 人 (7.7%) 自院以外（他医療機関、他施設等）から年間 480 人 (92.3%)		
医療（介護）連携見込み (※具体的に記入してください。)				
【増床前】 ○紹介元：埼玉医科大学国際医療センター 埼玉石心会病院 飯能整形外科病院 ○紹介先：上記同		【増床後】 ○紹介元：埼玉医科大学国際医療センター 埼玉石心会病院 飯能整形外科病院 ○紹介先：上記同		

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

②-2 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
一般病棟	34床	急性期	18.6日	64.6%
	一般	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料3	
医療療養病棟	54床	慢性期	148.5日	87.9%
	療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料1	
特殊疾患病棟	120床	慢性期	275.7日	67.1%
	一般	入院基本料・特定入院料	特殊疾患病棟入院料1	
回復期リハビリテーション病棟	46床	回復期	59.7日	78.5%
	療養	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟2	
診療科 内科・リハビリテーション科・放射線科・脳神経内科・精神科・皮膚科・循環器内科				
診療実績 (※整備する病床に関連する実績を記載してください) 【対応する患者】(ケアニーズの高い慢性期患者) ○急性期治療後で継続的な医療が必要な患者(脳血管疾患後、合併疾患等) ○自宅や施設での療養が困難な患者(経口摂取困難、認知症患者等) ○慢性疾患の患者、終末期の患者 【実施する医療等】 ○各種検査(生化学・生理学検査、放射線検査等)、褥瘡管理・処置等				

- 抗生物質・補液等、経管栄養、嚥下訓練
- 呼吸ケア（人工呼吸器管理、酸素、頻回吸引等）
- リハビリテーション（運動器・脳血管疾患等・廃用症候群）
- 在宅復帰支援、介護医療院への移行、緩和ケア、ターミナルケア

③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

- 当院では急性期（亜急性期）、回復期、慢性期から介護に至るまで、幅広い疾患・状態の患者（入所者）を受け入れる体制を整えており、急性期治療後から在宅復帰（施設入所）に至るまでシームレスな対応が可能となっています。
- 当院入院中の患者や外来等で、当院での対応が困難（緊急手術が必要など）と判断した場合は、医師もしくは地域医療連携室より、主に埼玉医科大学国際医療センターへ転院を依頼しています。

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

(3) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況	備考
取得済	6272.04 m ²		所有	
仮契約済	m ²		所有・借地	
取得予定	m ²		所有・借地	
計	6272.04 m ²			
取得見込等 (取得予定の場合)	<p>○改修範囲は南新館部分のみですが、南新館は南館の増築部分にあたるため、敷地は南館と南新館を含みます。</p> <p>○既存施設の改修による対応のため、新たな敷地取得の予定はありません。</p>			

(4) 計画建物

工事種別	改修
概 要	<p>・南新館（精神病床／認知症治療病棟）1病棟60床（1フロア）を、2病棟（20床と34床）に分割する （内装、酸素・吸引配管工事）</p> <p>→ 認知症治療病棟20床（40床は返還）と一般病棟34床（本館3階東病棟から移転）とする （建物構造、延床面積等に変更なし）</p> <p>→ 一般病棟が移転して空いたフロア（本館3階東病棟）を今回の計画に充てる（改修工事なし）</p>

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	7	22	5.1			
看護師	95	14	9.3	7		
准看護師	27	19	9.5	3		
看護補助者	65	19	13.9	5		
理学療法士	22	2	1.5			
言語聴覚士	18	0	0			
作業療法士	5	3	1.0			
その他	51	9	6.4	1		
計	290	88	46.7	16		

確保状況・確保策、確保スケジュール

【医師】

- ・現在の人員数に余力があるためあらたに確保する予定なし

【看護師、准看護師】

- ・認知症治療病棟の減床により余剰となる、看護師2名を配置転換（令和7年12月）
- ・人材紹介会社より看護師、准看護師合わせ5名を中途採用（令和6年11月～令和7年12月 随時採用）
- ・提携先の看護学校より看護師5名を新卒採用（内定済み）（令和7年4月）

【看護補助者5名、事務（病棟クラーク）1名】

- ・ハローワークや各種求人・転職サイト利用による自主応募（令和7年1月～12月 随時採用）
- ・人材派遣会社の利用（令和7年10月）

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人靖和会（飯能靖和病院）

(6) スケジュール

No.	項 目	計画年月	備 考
1	開設（変更）許可（医療法）	令和7年 5月	
2	建築（着工）	令和7年 7月	
3	建築（竣工）	令和7年11月	
4	医療従事者の確保	令和7年10月	
5	使用許可（医療法）	令和7年11月	
6	開設（増床）	令和7年12月	

* 計画年月の表記は「和暦」で記載すること。